

「第2期宇部市保育実施計画（素案）」 パブリックコメントの実施結果について

1 実施概要

- (1) 意見募集期間 : 令和4年1月6日（木曜日）から令和4年1月27日（木曜日）まで
- (2) 意見提出者 : 8 人
- (3) 意見等件数 : 14 件

2 素案に対する意見と市の考え方

| 項目 | 件数 | 市の考え方の区分 | | | |
|-----------|----|-----------------------------|--------------------------------------|---------------------------|-----------|
| | | A: 意見を踏まえて計画 案に反映するもの | B: 意見の趣旨がすでに 計画案に反映されて いるもの | C: 今後の参考とさせて いただくもの | D: その他 |
| 市内保育の現状 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 市民・関係者の意見 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 基本方針ごとの取組 | 10 | 0 | 4 | 6 | 0 |
| 計 | 14 | 0 | 6 | 8 | 0 |

意見と市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。下記のとおり、いただいたご意見に対して市の考え方を回答します。

| No. | 素案のページ | 意見 | 市の考え方 | 区分 |
|-------------------|--------|---|--|----|
| ◆市内保育の現状 | | | | |
| 1 | P6 | 今後、出生数が減少する見込みの今、施設数や保育士の確保を今一度見直してみたらどうだろうか。このままいけば自然淘汰され定員割れしている保育園の中には閉園になる園もあるのではないだろうか。 | エリアごとの需給バランスを踏まえ、施設の新設や更新・定員の増減等に要否を協議する場を設置します。（計画素案26ページ） | B |
| 2 | P10 | 現在の市内の子どもの数に対してこれだけの施設数が本当に必要なのか。 | エリアごとの需給バランスを踏まえ、施設の新設や更新・定員の増減等に要否を協議する場を設置し、必要に応じて公立保育園の定員を調整します。（計画素案26ページ） | B |
| 3 | P10 | 企業主導型保育事業に関しては、従業員の子どもの割合実態調査の報告をして欲しい。 | 今後の参考意見とします。 | C |
| ◆市民・関係者の意見 | | | | |
| 4 | P16 | 幼児期にふさわしい遊びや生活について、自然の中で遊ぶ機会を増やして欲しい。 | 各園等で取り組めるよう支援していきます。 | C |
| ◆基本方針ごとの取組 | | | | |
| 5 | P23 | 保育ソーシャルワーカーの設置を要望する。令和2年より国が『保育所等における要支援児童等対応推進事業』として予算をあげている。この地域連携推進員（保育士・社会福祉士・保健師等）を置いて欲しい。 | 今後の参考意見とします。 | C |
| 6 | P23 | 地域のネットワークは、今非常に希薄なので頼ることは難しいのではないかと思う。ネットワークの構築のために、必要なことを考えていくことも必要。 | 今後の参考意見とします。 | C |
| 7 | P24 | 質の高い保育の提供には、保育園によって非常に差があると思う。2-5自己評価の公表は公立だけでなく全園でした方がよいのではないか。 | 今後の参考意見とします。 | C |
| 8 | P24 | 質の高い保育の提供には、幼児教育アドバイザーとの連携や設置が必要ではないか。 | 今後の参考意見とします。 | C |
| 9 | P24 | 具体的な取組2-4について、現在のコロナ禍で現場に出る学びの場が学生には少ない。触れ合う実習が難しくても、現場の動画であったり、触れ合わず見学で温度感を知る機会を作る等の工夫がもっと必要。 | 今後の参考意見とします。 | C |
| 10 | P25 | 具体的な取組3-6と7に、保育士、看護師、保健師など多職種の職員を配置することを考えてはどうか。 | 今後の参考意見とします。 | C |

| No. | 素案のページ | 意見 | 市の考え方 | 区分 |
|-----|--------|---|--|----|
| 11 | P25 | 保育士不足が解消されれば、あらゆるニーズにも対応していけると思う。 | 安定的な保育体制を維持するための保育人材の確保と定着支援に引き続き取り組みます。（計画素案26ページ） | B |
| 12 | P25 | 障害児や医療的ケア児の受け入れ体制を整えるには、保育士の人数が十分足りている状態を作り、その子どもに負担の無いようにしてほしい。また、定期的な研修や知識・技術面で学べる機会や専門的な人と保育園が繋がっていることでいつでも相談や情報共有できる環境があると、保育士だけでなく、その子どもや保護者にもプラスになると思う。 | 安定的な保育体制を維持するための保育人材の確保と定着支援に引き続き取り組みます。（計画素案26ページ） 多様な主体が、専門性を高める研修機会の提供に取り組みます。（計画素案24ページ） | B |
| 13 | P26 | 働きたいときに保育園に預けられるように、保育園を増やす、保育士の給料を増やす、保育士を目指す学生に奨学金を出す等をしてもらいたい。 | エリアごとの需給バランスを踏まえ、施設の新設や更新・定員の増減等に要否を協議する場を設置します。（計画素案26ページ） 安定的な保育体制を維持するための保育人材の確保と定着支援に引き続き取り組みます。（計画素案26ページ） | B |
| 14 | P27 | 妊娠から出産・子育てが切れ目なくできる施設ができると、子育てしやすい世の中になると思います。公立保育園の建替え時には、子育て支援拠点となる機能を備えて欲しい。 | 公立保育園の整備にあたっては、ニーズや公立保育園に求められる機能等を総合的に判断していきます。（計画素案27ページ） | B |